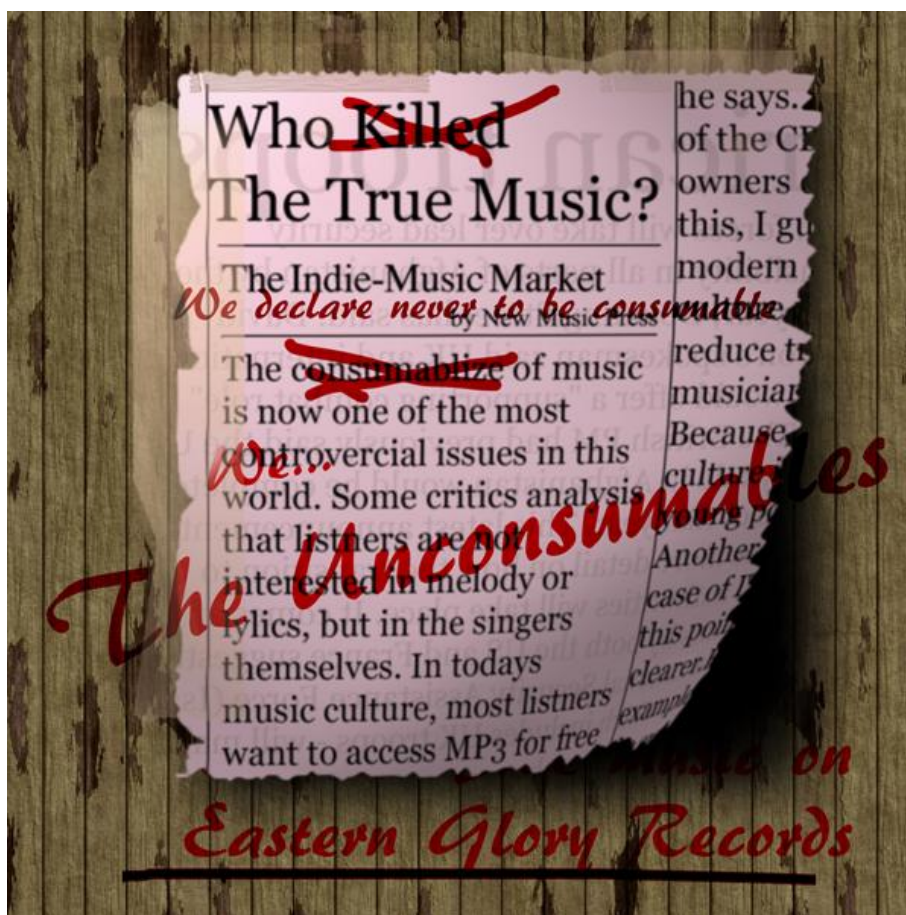


2012/3/30 Release

「the Unconsumables」

EGR-0001 \1,500(tax in) JAN: 4524094594819



- 1.MESSIAH / NAKED SPY
- 2.Birth / Noye Crois
- 3.UNDHIFEAT / UNDHIFEAT
- 4.星の花 / ロンサム
- 5.君に出会えて / 南紗椰
- 6.Wisdom / Sweet Butterflies
- 7.MIZERABLE DEAFMUTE / NAKED SPY
- 8.トリップ / Aplexion9
- 9.Space Elevator / ZAMA
- 10.雨心 / 伊藤道太郎
- 11.土埃の花嫁 / 奥島左珠
- 12.Everlasting / Alchemy Crystal

Liner notes

「歌は世につれ、世は歌につれ」という言葉があるが、日々巷に溢れる楽曲、音楽シーンのメインストリームでは、チャートの二極化、楽曲やアーティストたちが入れ替わり立ち替わり姿を消していく…。商業化された音楽たちが大量消費されていく感が否めない。そこには、アーティストや音楽を育む土壌がないようも思える。作品(楽曲)は、アーティストにとって生き方そのもの、スピリッツ、メッセージである。同時にオーディエンスの人生や生き方、心に寄り添うもので、時代の流れとともに消費されるものではない。Eastern Glory Records が放つ、所属アーティストによる第1弾コンピレーションアルバム「the Unconsumables(非消耗品)」は、そんな時代や流行に左右されることなく、真っ直ぐに音楽という生き方を追求するアーティストたちの姿勢やメッセージが詰め込まれていると言えるだろう。

激しく力強いストレートなメッセージを叩き付けてくる NAKED SPY の『MESSIAH』や『MIZERABLE DEAFMUTE』。天使・悪魔・人間といった三位一体のヴィジュアルコンセプトにも通じる光と影がメロディアスな旋律とハードなサウンドの中で交差する Noye Crois の『Birth』。UNDHIFEAT の『UNDHIFEAT』は、酔いしれるようなスピード感溢れるギター、DAI のハイトーンボイスが“激しく重く美しく”心を貫く。

また、デジタルサウンドに乗せ歯切れのよいボーカルを心地よく響かせるロンサムの『星の花』や、等身大の世界観にふっと口ずさみたくなるメロディー『君に出会えて』の南紗椰のピュアな歌声、そして、波のように引いては満ちていく旋律と語りかけるような歌声が心に波紋となって広がっていく、奥島佐珠の『土埃の花嫁』など、女性アーティストがアルバム全体に瑞々しい清涼感を添えている。

さらに、ハイパーな独特な音世界へと誘う Sweet Butterflies の『Wisdom』、クラシックで鍛えられた懐の広い歌声が印象的な伊藤道太郎の『雨心』が、ネオ歌謡曲的なひと味違う魅力を醸し出すほか、パンク・ポップロック調の小気味いいビート感を奏でる Aplexion9 の『トリップ』や、うねるサウンドと絡みつくようなボーカルでダイナミックな存在感を示す ZAMA の『Space Elevator』、疾走感&メロディアスなギターサウンドと温もりあるボーカルで詩の世界観をダイレクトに伝える Archemy Crystal の『Everlasting』など、未知数の可能性を秘めた若手からベテランまで、11組12曲による多彩で刺激に満ちた“Unconsumables(消費されない)”な楽曲が満載だ。

「Eastern Glory Records について」

現在、多くのアーティストの楽曲、作詞者、作曲者等の権利は、社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)などが集中管理業務を行い、音楽著作権法によって保護されています。しかし、それと同時に、デビューや契約時にアーティストの意志とは関係なくレコード会社やレーベルに著作権を奪取され、知らないうちに音楽出版社に譲渡されているなど、自分が作った作品であるにも関わらず、自由に使用出来ないという問題も生じています。確かに、レーベルや音楽出版を通じて著作権の管理委託することで著作物は計画的に扱われ、大規模ビジネスに対応しやすいというメリットもありますが、問題の多くはアーティストの自主的な判断で出版や管理会社を選択出来ないことや、著作権が譲渡されたことに気づかないということにあります。そこで、そのような音楽シーンの現状を踏まえ、Eastern Glory Records では、著作権を一切奪取しません。基本的にアーティストに権利を保持させ、希望する場合のみアーティスト自身が著作権譲渡や管理委託をするという形で、アーティストの自由な音楽活動をバックアップしていきます。

(ライター海老原澄画)

NAKED SPY



L→R: chocolat (key.), NABE (Ba.), ツカーサ (Gui.), KEN 石川 (Vo.), 狂介 (Gui.), ATS (Dr.)

2010年 VATHOKIJA の Vo, KEN 石川のソロプロジェクトとしてスタートし、2011年結成されたバンド。パンクとメタルの融合をはかったアグレッシブかつキャッチーな音楽性で結成直後から注目を集めており、現在アルバム発売に向け各方面から雑誌掲載やイベント出演等の依頼も多い。Eastern Glory Records 所属後は特に積極的に活動を展開している。

2010.12.01 「THE FIRST MISSION」発売

2011.02.14 WeROCK vol.021 掲載・付録 CD に「DOOMSDAY」で参加

2011.08.16 ファーストライブ

※KEN 石川 Biography

1987年9月29日

VATHOKIJA (ヴァソキヤ) 結成。(member=KEN, SHI-JA, KYO, MASA)

しばらく活動するが SHI-JA が Gargoyle に加入するため脱退。代わりに元 Gargoyle の REAL JACK が加入。その後活動を続けるもそれぞれの音楽性の違いなどにより惜しまれつつも解散。これまでの VATHOKIJA で残された音源

「VIOLENCE OF THE WILD / DON'T STOP ME」

「BREAK THE DISTURBANCE」

「ENIGMATIC CONNECTION / CORRUPT BLOOD」

は現在入手不可で貴重なものとなっている。

その後、STEPPEN THE BLUE を結成。アルバム POIZON LOVER をリリースし、インディーズチャートを震撼させ、しばらく活動するが様々な理由で解散。

CLUB MUSIC に目覚め一人で創作活動始める。CLUB MUSIC 雑誌 GROOVE などで取り上げられ注目を浴びる。

VATHOKIJA Original member の 屍忌蛇と再会し、VATHOKIJA を再結成。(member=KEN 石川、屍忌蛇、NABE, TOBBY) 現在も活動中。

ホームページ:

<http://vathokija.main.jp/naked>

Noye Crois



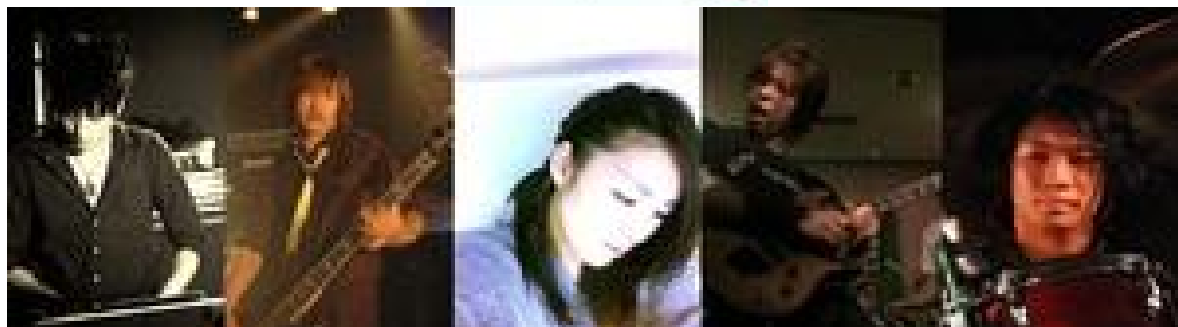
L→R: VeL (Ba.), Nero (Vo.), Lucia (Gui.)

2011年結成のビジュアル系ゴシックメタルバンド。「天性の才能を持った歌手の元に、天使と悪魔が自らの側につけようと降り立った」という、独特の明確なコンセプトをもって活動している。ラウド・ヘヴィロック系が流行している現在のいわゆるV系メタルとは異なり、音楽性は非常にメロディックである。Toshiの再来とも思えるVo.Neroの圧倒的なハイトーン・ヴォイスと歌唱力を武器に、コンセプト通りの壮大な楽曲を展開する、期待の新人といえる。

- 2011.03 デモ音源「Supreme Court」発売（日にちは不明）
- 2011.05 デモ音源「BIRTH」発売（日にちは不明）
- 2011.06 デモ音源「DAWN OF THE DEAD」発売（日にちは不明）
- 2011.07 デモ音源「Kyrie Eleison」発売（日にちは不明）
- 2011.09.21 V系情報番組「Viju Love Cafe #04」出演

ホームページ：
<http://www.noycro.jp/>

ロンサム



member: 及川康(Key.&Prog),河崎勇祐(Ba),横野舞(Vo.),大木拓磨(Gui.), 河野将大(Dr.)
(正式のアーティスト写真はなく、必要時には上の画像で統一)

デジタルサウンドを交えた音楽性が特徴的な、女性ヴォーカルを掲げるヘヴィ・ロックバンド。2010年、「Pandemic Street」として結成後、2011年3月バンド名を「ロンサム」に改めて現在に至る。ヘヴィなサウンドだがポップセンスのある楽曲は、独特の不安感と清涼感を併せ持ち、幅広いリスナーに訴えかけている。今後のJ-ROCKシーンを牽引していく勢いのある、ポスト・ロキノン系とも言いえる存在である。

1st Single[1.ごめんね 2.Breathing]

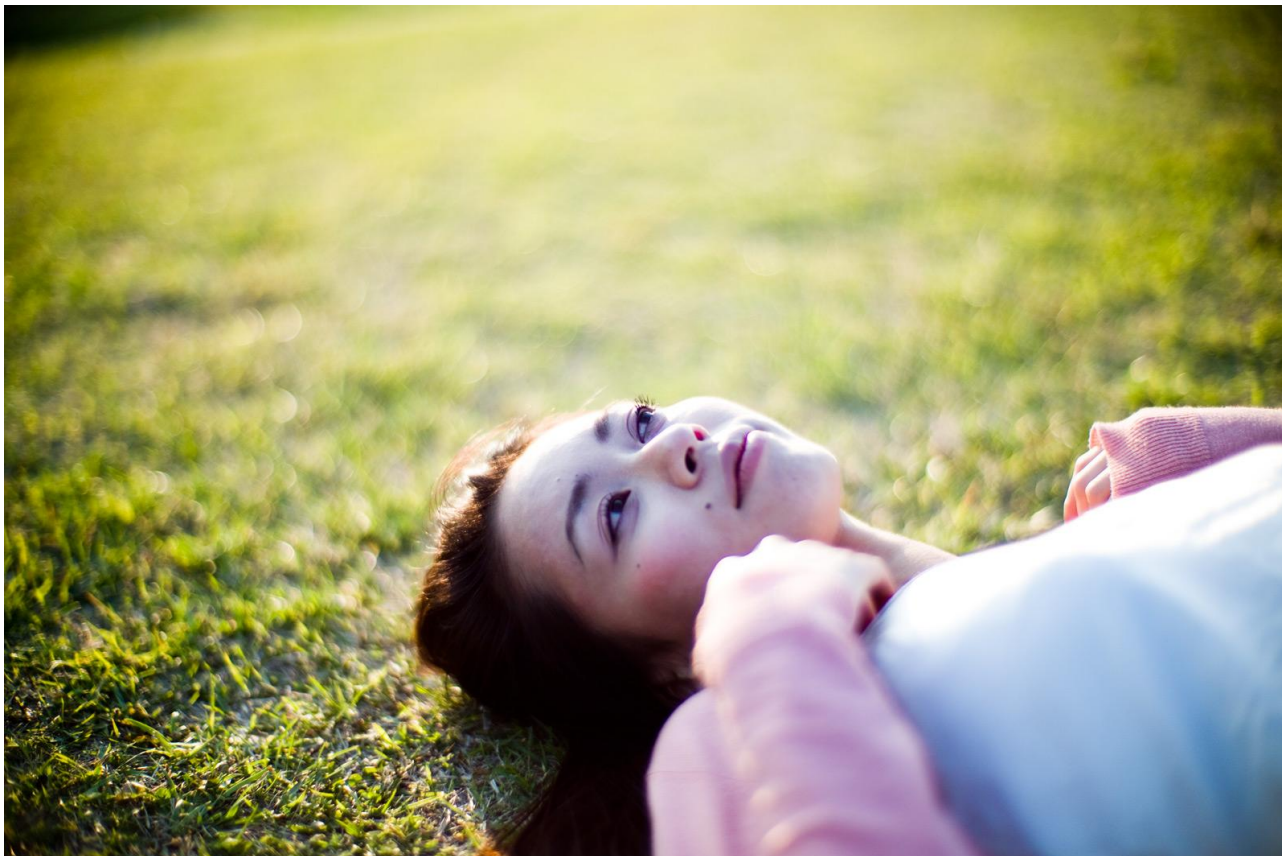
2nd Single[1.この空の先に 2.仮面を被る「僕たち」へ]

ともに発表年月日不明

ホームページ:

<http://lonesome5.web.fc2.com/>

南紗椰



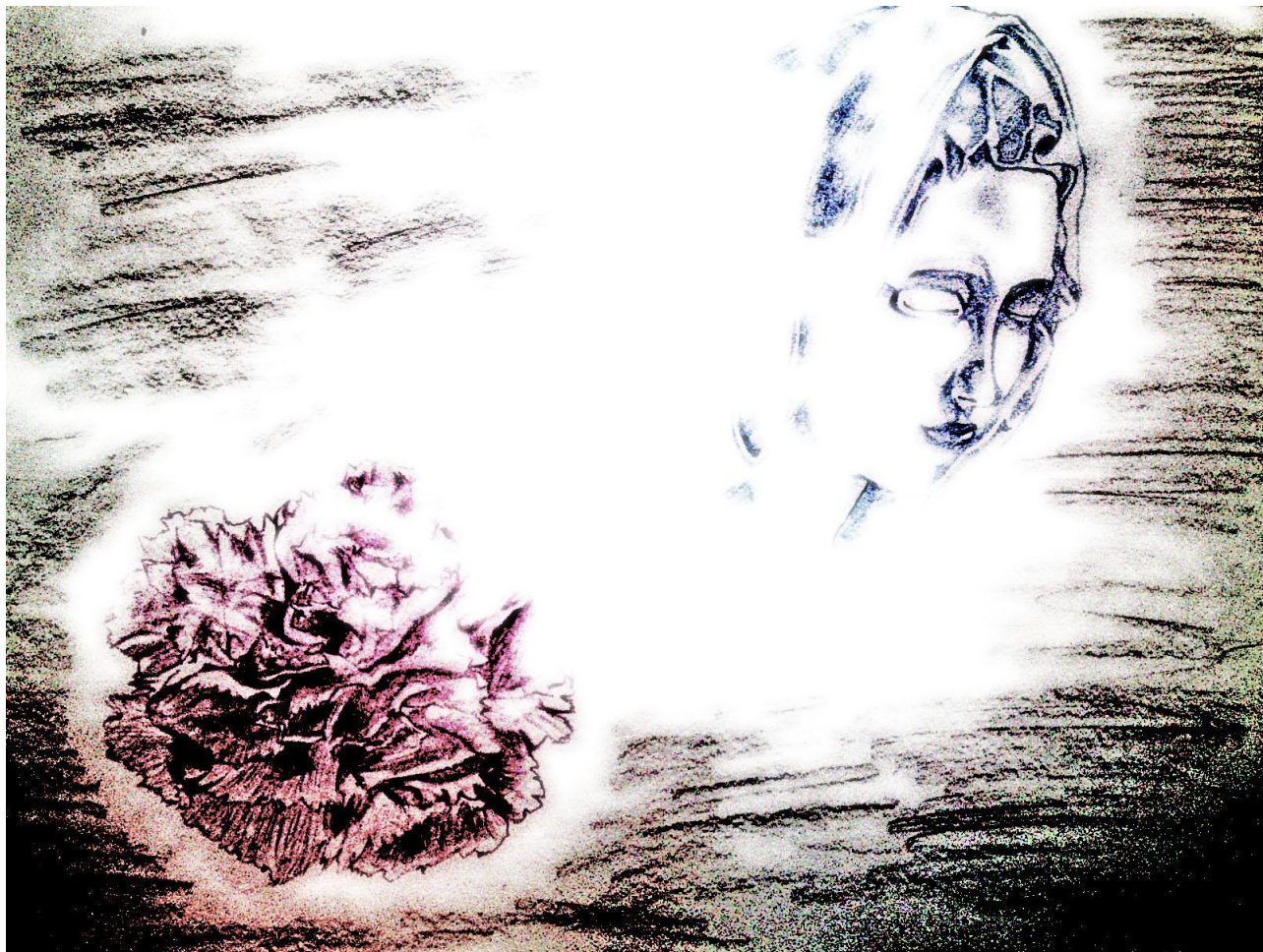
ピアノ弾き語りのシンガーソングライター。圧倒的な美貌で芸能界デビューを果たし、ラウンドガール出身で元 KNU23 という Eastern Glory では異色の経歴の持ち主だが、今やアイドルとして扱うことなどできない、非常にレベルの高いシンガーである。透き通るような歌声にはアイドル時代からファンが多いが、DTM を習得し、自ら作詞作曲も行う等、アーティストとしての面でも才能を発揮している。今後の期待される。

2011.04.01 ミニアルバム「Fragrance」 配信開始

オフィシャルブログ:

<http://ameblo.jp/minami-saya/>

Sweet Butterflies



2006年始動した Kokichi Akiyama による音楽プロジェクト。”神秘的で穏やかな狂気”をテーマに、プログラミングオンリーのものから、生の演奏を取り入れたものまで扱う分野は幅広いが、主に文学や映画など他媒体のメディアを独自の視点から消化したBGM製作が音楽活動の基盤。お洒落なブティックやカフェで流れているような洗練された音づくりを目指している。音楽活動と連携して絵画やインタラクティブメディアなどのアートワーク全般を手掛ける。

audioleaf や Musie にて計 8 曲を無料配信。

Tears
Devilish
Dark Falsetto
You & I
VelVet
Requiem
Wisdom
Futuristic

ホームページ:

<http://sweetbutterflies.masa-mune.jp/>

Aplexion9



都内のライブハウスを中心に活動しているロックバンド。キャッチーな曲調を主体としながらも、激しいロックからメロディックな楽曲と幅広く展開。

絶対的な歌唱力と表現力で惹きこむヴォーカル、Keiを中心とする本格的4ピースバンド。

ホームページ:

<http://aplexion9.com/>

ZAMA



L→R: K-YA(Ba. & Vo.),YOJI(Dr. & Cho.),KENSAKU(Gui. & Cho.)

ロックンロール・バンド。現在のメンバーは2009年8月～1年の準備期間と、レコーディングを経て、2011年4月からLIVE活動を展開。いわゆる「オヤジバンド」独特の余裕を感じさせつつ、「正統派か、邪道か？独創的だけど、どこか懐かしい3ピースロック」をテーマに、キレのある楽曲構成で硬派なロックンロールを提供する。また、各メンバーはソロでの活動が長く、特にK-YAは1997年より3枚のアルバムを発表しているヴェテランである。

自主制作によるデモをホームページにて無料配信中。
2012年4月、1stアルバム「LOVEZAMA」発売予定。

ホームページ：
<http://baxies.music.coocan.jp/>

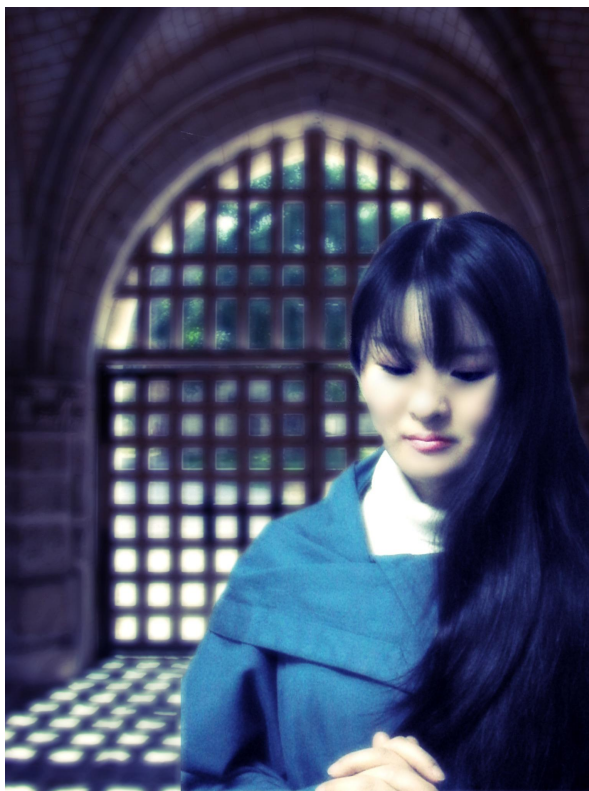
伊藤道大郎



上野学園短期大学声楽科卒。シンガーソングライターとして、自身の曲とフォークシンガーだった亡父・伊藤順一の曲でライブ活動中。また、2011年より、TAIJI with HEAVENSのギタリスト・HALのソロプロジェクトであるAlchemy Crystalにメイン・ヴォーカリストとして参加。クラシック声楽で鍛えられた抜群の歌唱力と、哀愁をたたえた伸びやかな歌声で人気を高めている。現在、ソロ、ユニット、Alchemy Crystalで平行して音源制作を行っており、何にでも対応できる高い技術力に今後が期待される。

オフィシャルブログ：
<http://ameblo.jp/melopoin/>

奥島左珠



フリーで文筆家・作詞家として活動し、美術評論や映画批評を展開。2010年より「奥島左珠」の名で音楽活動を開始した。オルタナ、ゴシック、プログレッシブロック、アンビエントなど様々なジャンルを融合させた独自の音楽に、しばしば実際の事件を題材に取った現代批判的な歌詞を乗せる。神秘的な歌声と独特のライブ・パフォーマンスでも注目されるが、基本的に音源ミュージシャンであり、年に数本しかライブは行わない。また現在作詞家としては、Alchemy Crystal へも歌詞の提供を行っている。現在アルバムと先行シングルを製作中。

2010.10.07～2011.04.21 WebTV 番組「Atelier Sadhu」(美術講義番組)放映
パーソナリティーとプロデュースを担当

2011.03.25 シングル「Their Last Agony」発売

ホームページ:

<http://www.sadhu-okushima.com>

Alchemy Crystal



写真は HAL(Gui.) バンド全体でのアーティスト写真は現在存在しない

TAIJI with HEAVENS のギタリスト、HAL のソロプロジェクトとして、2011 年に始動したメタルプロジェクト。全員が高度な技術を持ったプロの音楽集団であり、さらにソロシンガーの伊藤道太郎をヴォーカルに迎え、壮麗なシンフォニックアレンジに耐えうる抜群の安定感を誇る。それでいて技術本位に陥らず、高いメロディセンスをもった、現代的なシンフォニック・メロディック・スピード・メタルを展開している。今後は正式メンバーを選定し、バンドとして活動予定。現在アルバムを製作中。

※HAL Biography

18 歳からバンドを始め、24 歳で作曲家として仕事を始める。その後音楽講師、ギタリスト、レコーディングエンジニア、ライブハウス PA などを行う。現在は Taiji with heavens にギタリストとして在籍。

Taiji with Heavens として

2011.12.24 TAIJI with HEAVENS 「Mad Destory」と「Survivor」を無料ダウンロード開始

2012.2.14 WeROCK 027 の付録 CD に TAIJI with HEAVENS の未発表音源「Killer」収録

作曲家等として

FOTP (Vap) : 1st アルバムの 3 曲を作編曲

大田ゆうき: 空色グラフィティ 作編曲 (オリコンインディーズランキング 7 位)

小山留生: Magical Candy 作編曲 (オリコンインディーズランキング 6 位)

マリエリ(コロムビアミュージックエンタテイメント): 納豆粘々 編曲

ピュアドロップス: 桜雨 ピュアドロップス 作編曲 ディレクター担当 他多数

受賞歴

Roland 作曲コンテスト 優秀賞

DTM マガジン作曲コンテスト 銀賞

DTM 作曲コンテスト 優秀賞

ホームページ:

<http://www.hal-official.com>